

平成29年度

〔 自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日 〕

事業計画

長野県農業共済組合

平成 29 年度組合重点事項

1. 基本方針

農業・農村は、農家の高齢化や集落の人口減少、大規模農家等と小規模農家の二極化等が進み、農地集積、6次産業化などの政策が展開されている中、厳しい状況に晒されている。また、平成30年には米の生産調整の廃止、平成31年の収入保険制度の導入及び農業共済制度の見直しが予定されており、変動の時期を迎える。一方、農業災害は、雹害、凍霜害、豪雪、大型台風の襲来及び地震災害など頻発しており、セーフティーネットとしてのNOSA Iの役割は従前以上に増している。

このような状況を踏まえて、本年4月に1組合化した組合は、農業構造の変化への対応、収入保険制度の導入及び農業共済制度の見直し等に組織を挙げて取り組む体制づくりとして、県内約12万戸の組合員の負託に応えるため均質なサービスの提供と補償の充実に努める。事業の推進にあっては、全国運動「信頼のきずな」未来につなげる運動と連携し、「さらなるフィールド活動へ」を行動スローガンに事業推進を展開する。また、果樹共済を中心とした加入率の引き上げに努める。

収入保険制度については、人材育成と加入推進に備えた地盤づくりを、農業共済制度の見直しについては、改正内容の迅速で適確な普及に取り組む。

更に、業務運営の合理化・効率化と業務の改善を行うとともに、コンプライアンス態勢をより強化し、地域及び農家から信頼される新たな組織として一層農家の経営安定を図ることを基本方針に、次の事項を重点に全力で取り組むこととする。

2. 組織体制の強化と整備検討

本所の管理・統括機能、地域センター及び支所のフィールド活動機能を全面展開した事業推進等を行うとともに、一層の充実強化を図る。また、収入保険制度の導入に対応した組織体制を検討する。

3. 共済事業に関する事項

(1) 農作物・畑作物共済

ア 経営所得安定対策対象農家の適正引受と完全引受を図る。

イ 客観資料に基づく引受方式への普及拡大を推進する。

(2) 家畜共済

ア 有資格農家への全戸推進を行う。

イ 適正な引受と補償の充実に努める。

ウ 適正な損害認定と共済金の支払いを行う。

エ 家畜診療所の健全経営に基づく、診療提供を行う。

(3) 果樹共済

- ア 有資格農家を早急に把握した全戸推進を行うとともに、新規に実施した樹種の引受拡大を図る。
- イ 信州ワインバレー構想に対応し、「加工用ぶどう」の引受拡大を図る。
- ウ 有資格農家、地域の実情、被害発生状況等に応じ、可能な限り客観資料に基づく引受方式への普及拡大を推進する。

(4) 園芸施設共済

- ア 有資格農家への全戸推進を行う。
- イ 補償の拡充内容を十分説明した推進をする。
- ウ 関係機関・団体との連携により制度を普及する。

(5) 任意共済

- ア 制度共済加入者の未加入者に積極的な推進を行い補償の充実を図る。
- イ 制度内容の丁寧な説明と提案型推進を行う。

4. 収入保険制度導入への取り組み

- ア 関係組織と連携した積極的な制度の普及を図る。
- イ 加入推進時に備えた青色申告実施農家の把握等を行う。

5. コンプライアンスの態勢強化

- ア コンプライアンス・プログラムの実践により態勢強化を図る。
- イ コンプライアンス研修を通して役職員のコンプライアンス意識の向上を図る。
- ウ 内部検査、自主点検等の検査体制を強化し、適正な業務等の実施を図る。

6. 業務運営の合理化・効率化

- ア 運営の効率化と合理化を図り、経費の節減と業務の迅速化を図る。
- イ 業務の改善と見直しを図る。

7. 損害防止活動の実施と検証

- ア 地域の実態にあった活動を展開するとともに、費用対効果を検証した新たな活動を検討する。
- イ 農家ニーズの把握に努める。

8. 広報活動の充実強化

- ア 組合広報紙を発行し、情報提供と共済事業の普及を図る。
- イ 基礎組織に対する農業共済新聞の購読を薦め、制度の展開を図る。

1. 平成29年度事業計画書

(1) 共済目的の種類別の概数、引受実績及び計画

共済目的等 項目	組合員数	農作物共済 (ha)					農作物計	成乳牛	育成乳牛	乳用子牛等 (胎児)
		水稲		麦						
		一筆	全相殺	一筆	全相殺	災害収入				
東 信	32,098	6,417		351		17	6,785	4,905	480	3,810 (3,525)
南 信	31,750	7,694	158	482			8,334	5,070	610	2,115 (2,025)
中 信	30,714	9,892		56	339	1,127	11,414	2,302	325	1,233 (1,162)
北 信	27,277	4,665	37	116		60	4,878	1,145	105	58 (58)
共済目的の概数		31,398		2,850			34,248	13,843	1,540	14,438 (13,843)
前年度引受実績		29,451		2,566			32,017	13,847	1,551	7,801 (7,319)
本年度引受計画合計	121,839	28,863		2,548			31,411	13,422	1,520	7,216 (6,770)
本年度引受予定(%)	-	91.9		89.4			91.7	97.0	98.7	50.0

共済目的等 項目	果 樹										
	りんご					ぶどう					
	半相殺方式		災害収入 共済方式	樹園地単位		半相殺方式			災害収入 共済方式	樹園地 単位	
	短縮	特定危険		短縮	特定危険	一般	短縮	特定危険		短縮	特定危険
東 信	207	16			63	25	26				
南 信	65	172			75		5				
中 信	56	421			195	19	62	13		22 23	
北 信	190	447		90	209	14	45	12	8	10 6	
共済目的の概数			7,483					2,300			
前年度引受実績			2,182					280			
本年度引受計画合計			2,206					290			
本年度引受予定(%)			29.5					12.6			

共済目的等 項目	畑作物共済								ガラス室		
	ばれいしょ (ha)	大豆		そば (ha)	蚕 繭 (箱)			I 類	II 類	I 類	
		一筆・半相殺 (ha)	全相殺 (ha)		春蚕繭		初秋蚕繭				晩秋蚕繭
					発芽期前	発芽期					
東 信	2	340		54						20	
南 信		122		3	36.00		28.00	36.00		85	
中 信		17	815	518						43 1	
北 信		60	40	37		0.55				11	
共済目的の概数	1,140	2,500		4,000	36.55		28.00	36.00	6	523 1	
前年度引受実績	2	1,368		600	42.68		27.92	42.05		166 1	
本年度引受計画合計	2	1,394		612	36.55		28.00	36.00		159 1	
本年度引受予定(%)	0.2	55.8		15.3	100.0		100.0	100.0		30.4 100.0	

家畜共済(頭)									
肥育用成牛	肥育用子牛	その他の肉用成牛	その他の肉用子牛等(胎児)	一般馬	種豚	肉豚	種雄牛	種雄馬	家畜計
2,875	235	920	993 (928)		215		1		14,434 (4,453)
2,950	210	990	951 (950)	3	40		3		12,942 (2,975)
1,632	229	1,178	1,180 (1,103)	32	548	1,900	2	3	10,564 (2,265)
2,219	41	121	120 (120)	3	183		3		3,998 (178)
16,798	1,078	3,576	3,651 (3,430)	42	4,772	49,097	9	3	108,847 (17,273)
9,695	742	3,354	3,333 (3,198)	39	990	1,969	9	3	43,333 (10,517)
9,676	715	3,209	3,244 (3,101)	38	986	1,900	9	3	41,938 (9,871)
57.6	66.3	89.7	88.9	90.5	20.7	3.9	100.0	100.0	38.5

共済(ha)												果樹計	
な し				も も				かき	すもも				
半相殺方式		災害収入 共済方式	樹園地単位		半相殺方式		災害収入 共済方式	樹園地単位		半相殺方式 短縮	全相殺方式		災害収入 共済方式
短縮	特定危険		短縮	特定危険	短縮	特定危険		短縮	特定危険				
4					10	4			1				356
44	69			27	5					27			489
11	39			6	13	2							882
24	4		1	4	44	9	8	14				28	1,167
860				1,050				648	386				12,727
231				109				27	386				3,215
233				110				27	28				2,894
27.1				10.5				4.2	7.3				22.7

園芸施設共済(棟)							任意共済				
プラスチックハウス							園芸施設計	建物 (棟)	団体建物 (棟)	農機具	
Ⅱ類	Ⅲ類	Ⅳ類		Ⅴ類	Ⅵ類	損害 (台)				更新 (台)	
		甲	乙								
4,005	55	85	80	70	935	5,250	30,476		1,210	31	
5,740	106	107	126	61	145	6,370	33,665		1,505	81	
3,745	68	27	32	52	71	4,039	34,770		2,270	128	
1,884	94	30	35	22	24	2,100	29,561		1,143	27	
27,104	844	408	599	447	1,797	31,729	-	-	-	-	
15,008	283	240	266	191	1,247	17,402	127,621		5,904	276	
15,374	323	249	273	205	1,175	17,759	128,472		6,128	267	
56.7	38.3	61.0	45.6	45.9	65.4	56.0	-	-	-	-	

(2) 農業共済事業の規模

ア 農作物、家畜、果樹、畑作物、園芸施設共済保険事業の規模

共済目的等	項目	引受		共済金額	共済掛金			保険料	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金				
		本年度予定	前年度実績見込		総額	国庫負担金	農家負担金							
		A=B+C	B		C	D	E=B-D				F=A-D			
農作物	水稲	一筆	a	2,866,824	2,925,316	23,152,698	30,987	15,494	15,493	8,103	7,391	22,884		
			kg	136,109,410	124,765,913									
		全相殺	a	19,506	19,743	192,691	3,449	1,724	1,725	2,169	△ 445	1,280		
			kg	1,078,629	1,001,537									
		小計	a	2,886,330	2,945,059	23,345,389	34,436	17,218	17,218	10,272	6,946	24,164		
			kg	137,188,039	125,767,450									
	麦	一筆	a	100,497	98,156	264,041	9,490	4,869	4,621	2,376	2,493	7,114		
			kg	2,772,034	2,246,640									
		全相殺	a	33,945	33,944	62,651	4,928	2,711	2,217	1,335	1,376	3,593		
			kg	1,053,561	1,053,530									
		災害収入	a	120,383	121,273	451,960	36,149	19,827	16,322	9,278	10,549	26,871		
			kg	1,590,356	0									
	小計	a	254,825	253,373	778,652	50,567	27,407	23,160	12,989	14,418	37,578			
		kg	-	-										
合計	a	3,141,155	3,198,432	24,124,041	85,003	44,625	40,378	23,261	21,364	61,742				
家畜	畜	成乳牛	頭	13,422	13,847	2,123,616	301,638	150,818	150,820	115,140	35,678	186,498		
		育成乳牛	頭	1,520	1,551	121,847	5,871	2,935	2,936	2,223	712	3,648		
		乳用子牛等	頭	7,216	7,801	273,765	23,525	11,761	11,764	10,245	1,516	13,280		
		(胎児)	頭	6,770	7,391	239,746	0	0	0	0	0	0		
		肥育用成牛	頭	9,676	9,695	1,400,909	51,119	25,559	25,560	19,199	6,360	31,920		
		肥育用子牛	頭	715	742	56,187	7,010	3,504	3,506	2,757	747	4,253		
		その他の肉用成牛	頭	3,209	3,354	569,212	21,203	10,600	10,603	6,802	3,798	14,401		
		その他の肉用子牛等	頭	3,244	3,333	187,853	17,713	8,855	8,858	6,177	2,678	11,536		
		(胎児)	頭	3,101	3,198	166,518	0	0	0	0	0	0		
		一般馬	頭	38	39	8,460	179	89	90	81	8	98		
		種豚	頭	986	990	24,980	2,329	930	1,399	885	45	1,444		
		肉豚	頭	1,900	1,969	12,400	1,828	731	1,097	914	△ 183	914		
		小計	頭	41,926	43,321	4,779,229	432,415	215,782	216,633	164,423	51,359	267,992		
		種雄牛	頭	9	9	4,400	226	112	114	110	2	116		
種雄馬	頭	3	3	1,000	94	47	47	43	4	51				
小計	頭	12	12	5,400	320	159	161	153	6	167				
合計	頭	41,938	43,333	4,784,629	432,735	215,941	216,794	164,576	51,365	268,159				
果樹	りんご	半相殺	短縮	a	51,853	51,358	1,545,555	88,263	44,130	44,133	52,653	△ 8,523	35,610	
			特定危険	a	105,573	104,402	4,114,234	139,432	69,715	69,717	83,840	△ 14,125	55,592	
			災害収入	a	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			樹園地	短縮	a	8,997	8,907	276,656	13,841	6,920	6,921	9,710	△ 2,790	4,131
		特定危険	a	54,126	53,548	1,807,688	45,480	22,739	22,741	23,284	△ 545	22,196		
		小計	a	220,549	218,215	7,744,133	287,016	143,504	143,512	169,487	△ 25,983	117,529		
		ぶどう	半相殺	一般	a	5,811	5,707	263,316	8,555	4,277	4,278	3,675	602	4,880
				短縮	a	13,796	13,029	707,471	17,490	8,744	8,746	6,489	2,255	11,001
			特定危険	a	2,520	2,493	139,448	1,702	851	851	541	310	1,161	
			災害収入	a	778	770	50,601	1,012	506	506	500	6	512	
		樹園地	短縮	a	3,168	3,136	96,207	1,477	738	739	391	347	1,086	
			特定危険	a	2,910	2,881	125,678	1,435	717	718	225	492	1,210	
		小計	a	28,983	28,016	1,382,721	31,671	15,833	15,838	11,821	4,012	19,850		
		なし	半相殺	短縮	a	8,396	8,292	417,471	31,557	15,778	15,779	21,170	△ 5,392	10,387
特定危険	a			11,146	11,054	660,304	41,933	20,966	20,967	26,860	△ 5,894	15,073		
災害収入	a		0	0	0	0	0	0	0	0	0			
樹園地	短縮		a	102	100	2,800	76	38	38	39	△ 1	37		
特定危険	a	3,657	3,624	180,482	5,881	2,940	2,941	3,675	△ 735	2,206				
小計	a	23,301	23,070	1,261,057	79,447	39,722	39,725	51,744	△ 12,022	27,703				
もも	半相殺	短縮	a	7,286	7,170	277,918	11,690	5,844	5,846	6,356	△ 512	5,334		
		特定危険	a	1,488	1,423	61,887	1,572	785	787	688	97	884		
	災害収入	a	796	788	23,087	852	426	426	394	32	458			
	樹園地	短縮	a	1,389	1,375	44,026	933	466	467	396	70	537		
特定危険	a	100	97	3,250	52	26	26	19	7	33				
小計	a	11,059	10,853	410,168	15,099	7,547	7,552	7,853	△ 306	7,246				

共済目的等	項目	引受		共済金額	共済掛金			保険料	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金			
		本年度予定	前年度実績見込		総額 A=B+C	国庫負担金 B	農家負担金 C						
											D	E=B-D	F=A-D
果	かき	半相殺 短縮	a	2,678	2,652	32,245	998	499	499	550	△ 51	448	
		小計	a	2,678	2,652	32,245	998	499	499	550	△ 51	448	
	すもも	全相殺	a	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		災害収入	a	2,840	2,812	113,080	7,464	3,732	3,732	1,323	2,409	6,141	
		小計	a	2,840	2,812	113,080	7,464	3,732	3,732	1,323	2,409	6,141	
	樹	半相殺	一般	a	5,811	5,707	263,316	8,555	4,277	4,278	3,675	602	4,880
			短縮	a	84,009	82,501	2,980,660	149,998	74,995	75,003	87,218	△ 12,223	62,780
			特定危険	a	120,727	119,373	4,975,873	184,639	92,317	92,322	111,929	△ 19,612	72,710
		合計	全相殺	a	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		災害収入	a	4,414	4,370	186,768	9,328	4,664	4,664	2,217	2,447	7,111	
		樹園地	短縮	a	13,656	13,518	419,689	16,327	8,162	8,165	10,536	△ 2,374	5,791
			特定危険	a	60,793	60,150	2,117,098	52,848	26,422	26,426	27,203	△ 781	25,645
		計	a	289,410	285,618	10,943,404	421,695	210,837	210,858	242,778	△ 31,941	178,917	
	畑	大豆	ばれいしょ	a	150	190	2,193	131	72	59	86	△ 14	45
一筆			a	53,824	52,911	185,958	2,818	1,541	1,277	477	1,064	2,341	
全相殺			a	85,527	83,855	314,872	7,509	4,138	3,371	2,961	1,177	4,548	
小計			a	139,351	136,766	500,830	10,327	5,679	4,648	3,438	2,241	6,889	
作物		そば	箱	36.00	42.13								
			kg	1,270	1,192	2,050	40	20	20	0	0	0	
		春蚕繭	箱	0.55	1.00								
			kg	30	1	52	2	1	1	0	0	0	
			小計	箱	36.55	42.68							
		kg	1,300	1,216	2,102	42	21	21	16	5	26		
		繭	初秋蚕繭	箱	28.00	27.92							
			kg	875	697	1,290	20	10	10	3	7	17	
		晩秋蚕繭	箱	36.00	42.05								
			kg	1,240	1,158	1,960	38	19	19	5	14	33	
計	箱	100.55	112.65										
	kg	3,415	3,071	5,352	100	50	50	24	26	76			
合計		-	-	609,708	18,039	9,915	8,124	8,833	1,082	9,206			
園芸施設	ガラス室	I類	棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		II類	棟	159	166	565,540	845	422	423	131	291	714	
	プラスチックハウス	I類	棟	1	1	180	1	0	1	0	0	1	
		II類	棟	15,374	15,008	4,261,843	127,644	63,822	63,822	41,479	22,343	86,165	
		III類	棟	323	283	493,399	9,982	4,991	4,991	3,979	1,012	6,003	
		IV類	甲	棟	249	240	504,379	3,455	1,727	1,728	1,204	523	2,251
			乙	棟	273	266	856,854	4,546	2,273	2,273	1,703	570	2,843
		V類	棟	205	191	458,020	2,890	1,445	1,445	1,280	165	1,610	
	VI類	棟	1,175	1,247	379,491	8,710	4,355	4,355	2,699	1,656	6,011		
	合計	棟	17,759	17,402	7,519,706	158,073	79,035	79,038	52,475	26,560	105,598		
総計		-	-	47,981,488	1,115,545	560,353	555,192	491,923	68,430	623,622			

(注) ラウンドのため、引受の前年度実績の小計・計とその内訳は一致しない場合がある。
交付金又は納入保険料欄、正数は交付金、負数は納入保険料。

イ 任意共済保険事業の規模

共済目的等	項目	引受		共済金額	共済掛金			再共済掛金	再共済手数料	手持共済掛金		
		本年度予定	前年度実績		総額 A=B+C	純掛金 B	賦課金 C					
											D	E
共済関係	建物	総合	棟	17,785	17,770	149,365,240	286,438	209,754	76,684	85,931	21,912	145,735
		火災	棟	110,687	109,851	1,344,671,870	1,035,816	632,048	403,768	310,745	125,853	447,156
		小計		128,472	127,621	1,494,037,110	1,322,254	841,802	480,452	396,676	147,765	592,891
	農機具損害共済	台	6,128	5,904	12,600,000	52,542	34,650	17,892	-	-	52,542	
	農機具更新共済	台	267	276	399,150	76,655	76,082	573	-	-	76,655	
	合計		-	-	1,507,036,260	1,451,451	952,534	498,917	396,676	147,765	722,088	
				建物再共済割合	30.00%	建物再共済手数料割合	総合	25.50%	火災	40.50%		

(3) 引受計画と実施方策

ア 農作物共済

(ア) 引受計画

- a 水稲の引受面積は、平成29年度長野米基本計画面積31,398haの91.9%、28,863haを計画する。
- b 麦の引受面積は、平成29年産麦生産振興目標面積2,850haの89.4%、2,548haを計画する。

(イ) 実施方策

- a 経営所得安定対策等の施策に関わり、農政局長野支局、農業再生協議会等の関係機関と連携し、制度情報や農業共済との関係を周知するとともに、関係機関と作付け状況等の共有、連携を図る。
- b 麦の作付け耕地の完全把握と現地調査を励行し、適正な引受を図る。
- c 客観資料等により収穫量等が把握できる農家等を対象に、JA等の出荷先と協力し、補償の充実を図るため麦災害収入共済方式への加入を促進する。

イ 家畜共済

(ア) 引受計画

- a 乳用牛の引受頭数は、平成29年有資格頭数29,821頭の72.2%、21,530頭を計画する。
- b 肉用牛の引受頭数は、平成29年有資格頭数25,103頭の68.1%、17,095頭を計画する。
- c 種肉豚の引受頭数は、平成29年有資格頭数53,869頭の5.4%、2,908頭を計画する。

(イ) 実施方策

- a 有資格調査に基づき積極的な加入推進と加入の意思確認を行い、未加入農家の解消に努める。
- b 引受の増減理由を分析し、対応策を検討する。
- c 料率改定に併せ、補償の充実を図るよう提案推進を行う。
- d 個体識別情報検索との確認を徹底し、同時に現地確認を実施して異動状況を早期に把握する。
- e 月齢別評価基準に基づく適正評価を行う。
- f 子牛・胎児の積極的な加入促進を行う。
- g 養豚農家に対し加入の意志の有無を確認し、積極的な加入促進を行う。

ウ 果樹共済

(ア) 引受計画

- a りんごの引受面積は、平成28年産結果樹面積7,483haの29.5%、2,206haを計画する。
- b ぶどうの引受面積は、平成28年産結果樹面積2,300haの12.6%、290haを計画する。
- c なしの引受面積は、平成28年産結果樹面積860haの27.1%、233haを計画する。
- d ももの引受面積は、平成28年産結果樹面積1,050haの10.5%、110haを計画する。
- e かきの引受面積は、平成28年産結果樹面積648haの4.2%、27haを計画する。
- f すももの引受面積は、平成28年産結果樹面積386haの7.3%、28haを計画する。

(イ) 実施方策

- a 有資格農家への戸別訪問による制度の普及啓蒙と適正引受を図る。
- b 関係機関との連携を再構築するとともに、関係機関の会議等に積極的に参加し、制度の普及啓蒙を図る。
- c 果樹大規模農家経営支援事業の有効活用により大規模農家への加入を促進する。
- d 事業の適正・円滑な推進を図るため、有資格面積の把握を促進する。
- e 有資格農家、地域の実情、被害発生状況等に応じて、「理解され易い果樹共済」として、加入方式の統一を図る。
- f 結果樹面積が増加している加工用ぶどうの作付状況を把握し、加入推進を図る。
- g 地域特産品目としての「すもも共済」「かき共済」の加入推進を図る。
- h 園地台帳の確認整備により、適正な標準収穫量の設定を図る。

エ 畑作物共済

(ア) 引受計画

- a 大豆の引受面積は、平成29年大豆生産振興目標面積2,500haの55.8%、1,394haを計画する。
- b そばの引受面積は、平成29年そば生産振興目標面積4,000haの15.3%、612haを計画する。
- c ばれいしょの引受面積は、平成28年産実績を勘案して2haを計画する。
- d 蚕繭の引受箱数は減少率を勘案して、年間101箱を計画する。

(イ) 実施方策

- a 経営所得安定対策等の施策に関わり、農政局長野支局、農業再生協議会等の関係機関と連携し、制度情報や農業共済との関係を周知するとともに、関係機関と作付け状況等の共有、連携を図る。
- b 大豆農家等に対し、「取組計画に基づき」補償の充実を図るため全相殺方式を促進する。そばについては収穫量、出荷状況等を把握し、全相殺方式加入要件に該当する農家等の引受拡大を図る。
- c 基準収穫量の適正設定のため、耕地ごとの栽培形態等の把握及び全筆現地確認の徹底を図る。

オ 園芸施設共済

(ア) 引受計画

- a 引受棟数は、平成29年設置棟数31,729棟の56.0%、17,759棟を計画する。

(イ) 実施方策

- a 関係機関との連携を強化し、有資格農家の把握に努める。
- b 把握した有資格農家への全戸推進を実施し、加入率の向上と制度の普及に努める。
- c 被害を拡大させないための損害防止支援を実施する。

カ 任意共済

(ア) 引受計画

a 建物共済

前年度共済金額の99.5%、1兆4,940億円を計画する。

b 農機具損害共済

前年度共済金額の103.5%、126億円を計画する。

c 農機具更新共済

保有共済金額4億円を計画する。

(イ) 実施方策

a 建物共済

(a) 未加入者の組合員について、積極的な推進を図る。

(b) 加入資格要件の審査を徹底し、適正引受を行う。

(c) 建物・動産（家財・農機具）の金額区分加入の提案推進を行う。

b 農機具損害共済

業務提携の充実と業務提携農機具の継続加入率50%以上を計画する。

c 農機具更新共済

担い手農家・集落営農組織等に、買い替え資金のための提案推進を行う。

(4) 損害評価の適正化の方策

ア 農作物共済

(ア) 関係機関からの情報収集等により、気象の変化と生育状況の推移を把握するとともに、現地調査を励行する等、適正な損害評価を実施する。

(イ) 肥培管理等の状況についての的確な把握を行い、不適切、その他共済事故以外の原因による減収量については、適切な分割評価に努める。

イ 家畜共済

(ア) 完全引受による適正支払

牛個体識別事業を活用して異動状況を的確に把握し、適正支払に努める。

(イ) 死亡廃用事故共済金の適正支払

a 廃用事故に係る立会い完全履行する。

b 共済金の適正支払と農家の損害防止意識高揚のため、損害防止義務違反に係る免責基準を適正に適用する。

(ロ) 病傷事故共済金の適正支払

a 獣医師に対し共済金の早期支払を目的に、病傷事故診断書の提出遅延や事故発生通知の遅延に対する免責基準を周知徹底するとともに、適正に免責基準を適用する。

b 獣医師に対し、病傷事故適用細則及び給付基準の周知徹底を図り、共済金の適正支払を推進する。

(ハ) 事故分析と事故発生防止対策

事故増減の原因分析・対策を検討する。

(オ) 関係機関との連絡協調

- a 家畜共済臨床研究連絡協議会の活動を通じ、家畜共済事業概況や病傷事故給付基準の解釈、廃用基準の徹底とともに当該会員からの意見・要望等に基づく課題解決にあたる。
- b 家畜診療獣医師を対象とした研修会を開催し、診療技術の向上と家畜共済制度の一層の普及推進に努める。

ウ 果樹共済

- (ア) 関係機関からの情報収集等により、気象の変化と生育状況の推移を把握するとともに、栽培技術の習得と評価技術の向上に努め、適正な損害評価を実施する。
- (イ) 適正な基準収穫量の設定について検証を行う。
- (ウ) 被害発生状況を迅速に把握し、公平かつ適正な損害評価を実施する。
- (エ) 肥培管理等の状況についての的確な把握を行い、不適切、その他共済事故以外の原因による減収量については、適切な分割評価に努める。

エ 畑作物共済

- (ア) 関係機関からの情報収集等により、気象の変化と生育状況の推移を把握するとともに、現地調査を励行する等、適正な損害評価を実施する。
- (イ) 肥培管理等の状況についての的確な把握を行い、不適切、その他共済事故以外の原因による減収量については、適切な分割評価に努める。

オ 園芸施設共済

被災組合員からの損害発生通知の早期報告を徹底し、迅速かつ適正な損害評価と共済金の早期支払に努める。

カ 任意共済

罹災組合員からの速やかな事故発生通知と関係書類の提出を徹底し、共済金の早期支払に努める。

(5) 家畜診療所

- ア 畜産関係団体、関係獣医師と連携を図り、畜産農家の経営安定と地域畜産業の振興に貢献する。
- イ 家畜診療所の健全な運営を確保するため、関係市町村、関係団体の支援を受けるとともに、家畜診療業務の効率化と経費節減に努める。

(6) 損害防止事業の実施計画

ア 農作物・家畜・果樹・畑作物及び園芸施設共済

- (ア) 「損害防止事業」及び「緊急防除助成事業」を展開し、損害の未然防止・拡大防止を支援する。
- (イ) 関係機関との連絡協調により気象災害や病虫害の発生状況を的確に把握し、善後処置を

講じる。

(ウ) 獣害による被害への対策

関係機関との連携を図るため、捕獲対策の支援をする。

イ 家畜共済

(ア) 特定損害防止事業

特定疾病の事故未然防止を全地域センターで実施し、事業収支の安定と農家負担の軽

(イ) 一般損害防止事業

地域のニーズに応じた事業を支援する。

(7) 執行体制の整備

ア 理事会及び監事会の開催

(ア) 理事会

制度の的確な運営を図るため理事会を4月、6月、9月、11月及び2月に開催し、業務運営及び事務の執行方針について審議する。

(イ) 監事会

業務の適正な執行を期すため監事会及び定時監査を5月及び10月に開催する。

なお、監査機能の強化を図るため、公認会計士による会計指導により財務運営の適正化を図る。

イ 事務体制の整備

(ア) 本所2部5課、4地域センター、10支所の3体制及び6家畜診療所体制とし組織的・積極的な業務遂行により事業計画の達成に努める。

(イ) 内部監査、内部検査及び自主点検の実施等コンプライアンス・プログラムの確実な実践により、コンプライアンス態勢の強化を図る。また、情報保護の徹底を図るため、農業共済ネットワーク化情報システムにおけるセキュリティと個人情報の適正な取扱いに努める。

(8) 事業推進の実施方策

ア 業務の効率化の推進

(ア) 業務運営の一層の効率化

a 職員1人当たり事業規模点数7,000点（除任意）を目標に、必要最小限の人員で運営できるよう組織体制や業務運営を推進する。

b 徹底した合理化と効率化を推進する。

イ 全国運動・「信頼のきずな」未来につなげる運動の積極的展開

(ア) 設定した数値目標の達成に向けた取組みを積極的に進めるとともに、役職員が農家・多様な経営体に積極的に足を運び、経営安定と地域農業の発展に向け、一丸となって情報の提供と事業の推進を全面展開する。

ウ コンプライアンス態勢の整備・強化

- (ア) 定期的なコンプライアンス改善委員会の開催を推進する。
- (イ) 定期的な自主点検、内部検査等の実施とその改善勧告等の履行を図る。
- (ウ) 事業運営マニュアルを活用したコンプライアンスの点検と推進を図る。
- (エ) 事業別研修会等においてコンプライアンスを徹底する。
- (オ) 公認会計士による経理・財務状況の調査を実施する。

エ 共済事業の適正引受の徹底

- (ア) 掛金等の立替払いの禁止を徹底するため、役職員・基礎組織への周知等を行う。
- (イ) 掛金等の口座振替への推進を図るため、会議や広報紙などあらゆる機会を通じ農家・基礎組織へ周知する。
- (ウ) 現金等取扱上の不適正引受を未然防止するため、引続き引受確認等を行う。
- (エ) 農災法・諸規則等を遵守した適正引受の徹底を図るため、加入者に対して加入内容及び損害評価に関わる事項に関して適切な説明の励行を図る。

オ 役職員の研修計画

No	種 別	実施時期	延日数	対象者	備 考
1	新任職員研修会	4月	1日	新任職員	外部への参加斡旋
		5月	1日		1日で1ヵ所開催
2	家畜共済事務取扱講習会	6月	1日	職員	1日で1ヵ所開催
3	建物・農機具共済 事務及び損害評価講習会	6月	1日	職員	1日で1ヵ所開催
4	園芸施設共済事務講習会	6月	1日	職員	1日で1ヵ所開催
5	内部検査実務研修会	7月	1日	内部検査員職員	1日で1ヵ所開催
6	広報技術研修会	7月	1日	職員	1日で1ヵ所開催
7	農家の税務研修会	7月	1日	職員	1日で1ヵ所開催
8	コンプライアンス研修会 (情報セキュリティも含む)	7月	5日	職員	1日で5ヵ所開催
9	果樹共済損害評価講習会	7月	1日	職員	1日で1ヵ所開催
10	役員研修会	9月	1日	理事及び監事	1日で1ヵ所開催
11	県内農業共済団体等 診療獣医師講習会	10月	2日	家畜診療所及び 指定、嘱託獣医師	2日で1ヵ所開催
12	制度施行70周年記念役職員 研修集会	11月	1日	役職員	1日で1ヵ所開催
13	管理職研修会	12月	1日	管理職職員	1日で1ヵ所開催
14	NOSA I 制度見直し学習会	必要に応じて	4日	職員	
15	収入保険制度学習会	必要に応じて	4日	職員	

カ 関係機関・団体と連携した推進体制の確立

関係機関・団体等と一層の連携強化に努め、地域において円滑に業務運営ができる体制を確立する。

(9) 収入保険制度の導入と農業災害補償制度の見直しの加入促進

ア 「備えあれば憂いなし」の農業生産体制を構築していくため、収入保険制度又は農業災害補償制度への加入を促進する。

イ 収入保険制度の導入に向けて、J A、農業委員会などの関係組織と連携して、きめ細かく推進を行う。

(10) 次期運営強化計画の策定

平成30年度からの組合運営強化計画を、N O S A I を取り巻く環境の変化に即して策定する。

(11) 普及広報事業の実施方策

ア 農業共済新聞の目標達成するための手段として、共済事業の推進と一体となった広報を推進する。

イ 広報委員会・広報技術研修会を開催し、広報紙及び農業共済新聞「ながの版」の充実を図りながらN O S A I 制度に対する理解と信頼を築く。

ウ 基礎組織構成員への農業共済新聞の普及拡大を図り、N O S A I 制度の理解と信頼を深める。

(12) N O S A I 情報システムの適切な管理運用

ア S B C システムの適切な管理・運用

(ア) ネットワーク管理者会議の開催し、長野県農業共済ネットワーク化情報システムデータセンターの適正かつ効果的な運用と農業共済関係情報の保護管理を図る。

(イ) データセンターセキュリティ実施の実効性を検証するため、定期的にセキュリティ監査を実施する。

イ コンプライアンス及びセキュリティの徹底

(ア) 各種ウイルス情報を収集し、適切なコンピュータウイルス対策を実施する。

(イ) 情報セキュリティ研修会を開催し、情報セキュリティに対する普及啓蒙と徹底を図る。

(13) 予算統制の方針

ア 事業計画の完全達成を図り、財源の確保に努める。

イ 資金計画及び運用方針に基づき、効率的な資金運用により収入の確保に努めるとともに、併せて適正な支出を執行する。

ウ 予算差引簿等により定期的に執行状況を把握し、計画的な執行に努める。

エ 経常経費については、極力節減を図り財務の安定化に努める。

2. 平成29年度業務収支予算書

(1) 業務収支予算明細

ア 収入の部

科 目	予 算 額			説 明
	本年度	前年度	増 減	
	千円	千円	千円	千円
前期繰越業務残金	45,737	53,473	△ 7,736	
受 取 補 助 金	1,297,218	1,307,056	△ 9,838	(国庫補助金) 一般事務費 1,230,859 家畜特定損害防止事業費 2,557 (市町村補助金) 損害防止費補助金 3,061 加入奨励補助金 60,741
受 取 奨 励 金	0	40,298	△ 40,298	
賦 課 金	131,369	161,725	△ 30,356	
事務費賦課金	129,003	159,294	△ 30,291	
水稻共済割	21,647	30,461	△ 8,814	面積割
麦共済割	1,273	1,262	11	面積割
家畜共済割	45,971	54,681	△ 8,710	共済金額割
果樹共済割	43,773	49,054	△ 5,281	共済金額割
畑作物共済割	666	847	△ 181	ばれいしょ・大豆・そば：面積割 蚕繭：共済金額割
園芸施設共済割	15,673	22,989	△ 7,316	共済金額割
防災賦課金	2,366	2,431	△ 65	共済金額割
受 託 収 入	1	1	0	
損 害 防 止 収 入	1	1,636	△ 1,635	
受取損害防止事業負担金	0	27,211	△ 27,211	
受 取 利 息	245,000	261,976	△ 16,976	債券、預金利息
事 業 勘 定 受 入	500,793	541,415	△ 40,622	
農作物共済勘定受入	0	3,208	△ 3,208	
家畜共済勘定受入	0	2,324	△ 2,324	
果樹共済勘定受入	0	1	△ 1	
畑作物共済勘定受入	0	506	△ 506	
園芸施設共済勘定受入	0	281	△ 281	
任意共済勘定受入	500,220	534,548	△ 34,328	建物・農機具損害共済事務費等
農機具更新共済勘定受入	573	547	26	農機具更新共済事務費

科 目	予 算 額			説 明
	本年度	前年度	増 減	
	千円	千円	千円	
拋出金払戻準備金戻入	1	1	0	
業 務 雑 収 入	19,799	19,814	△ 15	事務所賃貸料等
建 設 引 当 金 戻 入	1	2	△ 1	
修 繕 引 当 金 戻 入	1	1,361	△ 1,360	
更 新 引 当 金 戻 入	8,930	5,001	3,929	公用車等
業 務 引 当 金 戻 入	1	4,502	△ 4,501	
事業運営強化準備金戻入	61,632	77,198	△ 15,566	損害防止事業、果樹大規模支援事業等
事務機械化整備準備金戻入	20,879	33,259	△ 12,380	
退職給与金施設預託金付加金収入	34,501	37,275	△ 2,774	
退職給与金施設転貸福祉貸付受取利息	101	125	△ 24	
有価証券処分益	0	0	0	
業務財産処分益	1	1,082	△ 1,081	
業 務 雑 利 益	1	2	△ 1	
合 計	2,365,967	2,574,413	△ 208,446	

イ 支出の部

科 目	予 算 額			説 明
	本年度 千円	前年度 千円	増 減 千円	
人 件 費	1,570,251	1,640,381	△ 70,130	
役員報酬	20,195	36,299	△ 16,104	理事23名、監事3名
職員給料手当	1,240,671	1,227,230	13,441	職員197名
法定福利費	226,539	232,847	△ 6,308	厚生年金、健保、労働保険等
厚生福利費	14,815	12,290	2,525	傷害保険料、健康診断料等
退職給付引当金繰入	34,501	70,777	△ 36,276	
退職給与金	160,000	182,873	△ 22,873	
(-)退職給付引当金戻入	△ 160,000	△ 184,197	24,197	職員退職給付引当金戻入
賃金	33,530	62,262	△ 28,732	臨時職員
旅 費 交 通 費	10,028	11,874	△ 1,846	
役員旅費交通費	2,285	1,995	290	
職員旅費交通費	7,743	9,879	△ 2,136	
事 務 費	109,596	92,996	16,600	
通信運搬費	51,581	46,882	4,699	電話、郵便、通信料等
図書印刷費	24,269	24,120	149	各種資料印刷、図書購入等
消耗品費	24,738	14,067	10,671	事務用消耗品、システム関連消耗品等
手数料	9,008	7,927	1,081	送金手数料等
業 務 費	137,028	171,864	△ 34,836	
会議費	5,334	7,014	△ 1,680	NOSAI部長会議、果樹推進会議等
交際費	1,456	903	553	
講習会費	764	1,859	△ 1,095	各種講習会等
業務支払利息	202	253	△ 51	
委託費	50,019	85,898	△ 35,879	システム関連事務委託費等
報酬	71,510	69,843	1,667	NOSAI部長報酬
委員等旅費	5,143	3,943	1,200	総代会等
諸謝金	2,600	2,151	449	司法書士、会計事務所謝礼
普 及 推 進 費	150,803	138,267	12,536	
広報費	13,215	21,390	△ 8,175	広報紙等
事業奨励費	137,588	116,877	20,711	事業推進費等
施 設 費	153,240	143,065	10,175	
光熱水費	19,932	19,772	160	電気代、水道料等
備用品費	11,873	5,370	6,503	事務用備品等
燃料費	18,301	15,439	2,862	業務車両燃料代

科 目	予 算 額			説 明
	本年度	前年度	増 減	
	千円	千円	千円	
賃借料	47,714	43,471	4,243	業務車両等リース料等
修繕維持費	47,299	51,244	△ 3,945	保守、メンテナンス料等
保険料	8,095	7,743	352	会館等火災保険、車両保険等
車両リサイクル費	26	26	0	車両リサイクル料金
損 害 評 価 費	43,458	35,463	7,995	
報 酬	25,325	13,300	12,025	損害評価会委員、評価員報酬
旅 費	4,445	7,997	△ 3,552	損害評価会委員、評価員旅費
会議費	2,217	2,337	△ 120	評価会会議等
賃 金	1,219	1,202	17	損害評価臨時雇上
賃借料	2,742	3,013	△ 271	損害評価用レンタカー代等
燃料費	1,541	1,412	129	損害評価用燃料代
実測費	1,880	1,822	58	実測賃金、旅費等
実測器具購入費	50	469	△ 419	損害評価用器具購入費
雑 費	4,039	3,911	128	実測坪刈借上料等
損 害 防 止 費	79,309	63,197	16,112	損害防止用薬剤、委託料等
損害防止事業負担金	0	47,555	△ 47,555	
諸 税 負 担 金	28,533	26,455	2,078	
公課費	12,686	10,713	1,973	固定資産税、法人税等
協会負担金	7,216	6,712	504	全国農業共済協会負担金
関係団体負担金	8,631	9,030	△ 399	各種団体負担金
事 業 勘 定 繰 入	29,923	28,477	1,446	
家畜共済勘定繰入	9,127	10,879	△ 1,752	特定損害防止事業、家畜診療所補填
農機具更新共済勘定繰入	20,796	17,598	3,198	農機具更新勘定受取利息
拠出金払戻準備金繰入	1	1	0	
業務貸倒引当金繰入	1	1	0	
業 務 雑 費	4,147	4,581	△ 434	
建設引当金繰入	1	95,001	△ 95,000	
修繕引当金繰入	1	16,395	△ 16,394	

科 目	予 算 額			説 明
	本年度	前年度	増 減	
	千円	千円	千円	
更新引当金繰入	1	3,951	△ 3,950	
業務引当金繰入	1	3,002	△ 3,001	
固定資産自己財源取得費	12,864	10,894	1,970	
外部出資費	1	1	0	
有形固定資産取得費	12,843	10,892	1,951	公用車等
無形固定資産取得費	20	1	19	
リース資産除去損	1	1	0	
リース債務解約損	1	1	0	
事業運営強化準備金繰入	1	1,171	△ 1,170	
事務機械化整備準備金繰入	1	22,000	△ 21,999	
退職給与施設転貸福祉貸付支払利息	101	125	△ 24	
有価証券処分損	1	1	0	
有価証券評価損	1	0	1	
業務財産処分損	1	2	△ 1	
業務雑損失	271	462	△ 191	
予 備 費	36,402	17,230	19,172	
合 計	2,365,967	2,574,413	△ 208,446	

(2) 防災事業収支予算明細

科 目	本 年 度 予 算 額			前 年 度 予 算 額			増 減		備 考
	総額 (A)	一般	家畜特損	総額 (B)	一般	家畜特損	(A)-(B)		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		千円	
(収入の部)									
受取補助金	5,618	3,061	2,557	5,677	3,396	2,281	△	59	
家畜特損事業費(国庫)	2,557		2,557	2,281	0	2,281		276	
損害防止費補助金(市町村)	3,061	3,061		3,396	3,396	0	△	335	
防災賦課金	2,366	0	2,366	2,446	1,396	1,050	△	80	
家畜共済割	2,366	0	2,366	2,446	1,396	1,050	△	80	
損害防止収入	1	1	0	1,636	700	936	△	1,635	
受取負担金	0	0	0	27,211	23,249	3,962	△	27,211	
事業勘定受入	0	0	0	5,246	5,246	0	△	5,246	
農作物共済勘定受入	0	0	0	3,208	3,208	0	△	3,208	
家畜共済勘定受入	0	0	0	1,250	1,250	0	△	1,250	
果樹共済勘定受入	0	0	0	1	1	0	△	1	
畑作物共済勘定受入	0	0	0	506	506	0	△	506	
園芸施設共済勘定受入	0	0	0	281	281	0	△	281	
業務受入額	73,836	73,836	0	70,586	70,115	471		3,250	
合 計	81,821	76,898	4,923	112,802	104,102	8,700	△	30,981	
(支出の部)									
事務費	11	0	11	5	0	5		6	
図書印刷費	11	0	11	5	0	5		6	
損害防止費	79,309	76,898	2,411	63,197	59,980	3,217		16,112	
薬剤費	33,827	33,564	263	27,821	27,529	292		6,006	
賃金	0	0	0	0	0	0		0	
賃借料	403	403	0	403	403	0		0	
燃料費	4	4	0	4	4	0		0	
技術者雇上料	608	0	608	639	0	639	△	31	
旅費	0	0	0	1	1	0	△	1	
器具購入費	30	30	0	30	30	0		0	
修理費	350	350	0	220	220	0		130	
委託費	4,150	2,610	1,540	4,872	2,591	2,281	△	722	
雑費	39,937	39,937	0	29,207	29,202	5		10,730	
損害防止事業負担金	0	0	0	47,555	43,753	3,802	△	47,555	
事業勘定繰入	2,501	0	2,501	1,676	0	1,676			
固定資産自己財源取得費	0	0	0	369	369	0			
合 計	81,821	76,898	4,923	112,802	104,102	8,700	△	30,981	